

## ドアに挟まれて指を切断！？ ～ ドアの安全性に関する調査を実施しました ～

東京消防庁管内では平成 23 年から 27 年の 5 年間に於いて、手動ドアに挟まれて救急搬送された子供は 932 人おり、そのうち 45 人が指を切断しています。子供の挟まれ事故の要因として、ドアによる事故が最も多く発生していることから、東京都は、ドアによる危害危険経験等について、インターネットアンケート等による調査を実施しました。

### 調査結果

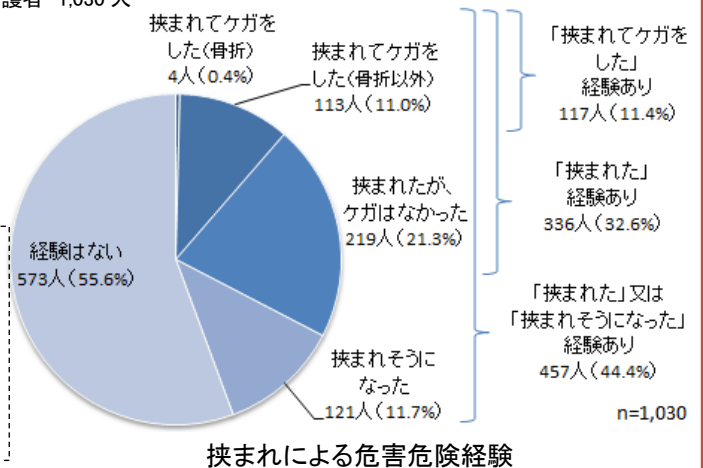
#### ☆ アンケート

※ 調査対象：小学校 1、2 年生の子供と同居する保護者 1,030 人

- ドアに「挟まれた」又は「挟まれそうになった」経験  
⇒ 約 3 人に 1 人は、「挟まれた」経験あり。  
中には、骨折した子供も！  
⇒ 経験時の年齢は、2 歳が最多。  
⇒ 経験時の約 6 割は、自宅の室内ドアで発生。  
⇒ 経験時のドアの種類約 8 割が「開き戸」。

【事例 1】子供と朝、出掛けるときに、慌てていて、靴を履きながら丁番に子供が手をかけているのに気づかず、閉めてしまったときに指を挟んでしまった。

【事例 2】下の子供が 1 歳の頃、リビングのドア(開き戸)を触って遊んでいて、それを知らずに上の子供がドアを勢いよく開け入ってきたら、指を挟んだ。



#### ☆ 試験

※ 危害危険経験の多かった「開き戸」で実施

- 隙間測定
  - ・90 度に開放したドアの吊元側(丁番側)の隙間
  - ⇒ 指挟み防止仕様のドア…隙間なし
  - ⇒ 通常ドア(指挟み防止仕様なし)…33mm
  - ⇒ 指挟み防止グッズ(吊元側用)を取り付けても、子供の手の届く高さに隙間が発生。

#### ○ 破断試験

- ・ドアの隙間に木製の棒(直径 7mm)を挟み込み、破断・変形量を確認
- ⇒ 破断・変形量は、戸先側よりも吊元側の方が大きい。
- ⇒ ドアクローザがないドアの吊元側では、木製棒が破断。

### アドバイス

- ☆ 指挟み防止対策をしましょう。
  - ・指挟み防止グッズは、必要に応じて複数使用するなど、子供の手の届く高さを考慮して取り付けましょう。
  - ・住宅購入時など、指挟み防止仕様のドアの設置等も考慮しましょう。
- ☆ ドアを開閉するときは、子供がどこにいるのか良く確認しましょう。
  - ・小さな子供は、気づかないうちに後からついてきたり、ドアの隙間に手をかけたりしているので、注意が必要です。
- ☆ 子供をドアで遊ばせないようにしましょう。また、ドアに挟まれてケガをする危険があることを教えておきましょう。
- ☆ 室内用のドアにも、ドアの開閉を緩やかにするドアクローザ等の設置を考慮しましょう。

### 国・事業者団体への要望

国及び事業者団体に対し、次のとおりドアの安全対策の推進を要望します。

- ☆ 国及びドアに係る事業者団体に対し、指挟み防止等に配慮した安全な製品の開発・普及等の取組強化等を要望。
- ☆ 建築業界団体に対し、指挟み事故や安全な製品の普及啓発等についての協力を要望。

詳しい内容は、こちらをご覧ください。



<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzaen/test/>

#### 【問合せ先】

消費生活部生活安全課商品安全担当  
電話 03-5388-3082